

シンポジウム

「遠州の歴史・文化・南画・水墨画」

浜松を中心とする遠州地域は、東西の交通の要衝として、豊かな文化をはぐくんできました。

今回は国際日本文化研究センターの共同研究班「近代日本における『文人文化』の変容」と連携しつつ、遠州の歴史をたどりながら、地域固有の文化である「遠州南画」の魅力や意義を紹介、討議します。

会場：浜松市立中央図書館 2階会議室（浜松市中央区松城町 214-21）

日時：令和8年5月9日（土）

12:30～ 受付開始

13:00～13:10 開会あいさつ：浜松市立中央図書館長

13:10～13:25 趣旨説明：戦 暁梅（国際日本文化研究センター教授）

13:25～14:15 「文人の旅と交流—浦上玉堂・司馬江漢から語る」

：磯田道史（国際日本文化研究センター教授）

14:15～15:05 「遠州南画の200年—江戸・明治・大正・昭和・平成のあゆみと特色」

：村田隆志（大阪国際大学教授）

15:05～15:15 休憩

15:15～15:45 遠州の水墨画・公開制作：佐々木空心（東洋水墨美術協会代表）

15:45～16:30 パネルディスカッション

磯田道史・村田隆志・田畑 潤（愛知県陶磁美術館主任学芸員）

池澤一郎（早稲田大学教授）

16:30～16:40 閉会あいさつ：杉山知太郎（平野美術館副館長）

受講者募集（定員80名）

受講希望の方は、右記の二次元コードから申し込みください。

応募多数の場合は抽選 応募締切 令和8年4月27日（月）



【お問合せ】

浜松市立中央図書館 調査支援グループ 電話 053-457-2618

主催：浜松市立中央図書館

共催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

公益財団法人 平野美術館